

誘客推進について

質問（増淵寛江議員） 大田原への誘客推進の各種イベントの効果と今後の取り組みについて伺います。

答弁（産業文化部長） 春のさくら祭りや夏の与一まつり、秋の産業文化祭をはじめとし、市内で一年を通して様々なイベントが開催され、市内外からたくさんの方々が訪れております。

これら多くのイベントは回数を重ねることにより大田原の風物詩として定着し、市内外或いは県内外でも広くその存在が知られるようになり、イベントを

楽しみに待っている方も多数おられます。

去る一月二十九日に開催いたしました「おおたわらグルメフェスタ2012」は、大田原の美味しいお店をPRすること、農産物の安全安心をPRすることを目的とし、市内外から約六千人の方々に来ていただきました。道の駅那須与一の郷で開催したこともあり、会場に来ていただいた方々の多くが道の駅の各施設や与一伝承館へも足を運んでいただいております。市内で様々なイベントが開催



かねだ保育園の分園が浅香地内に開園しました

待機児童解消への取り組みについて

質問（鈴木 央議員） 待機児童解消に向けた取り組みについて伺います。

答弁（保健福祉部長） 今後の保育園における待機児童解消に向けた取り組みであります。かねだ保育園民営化に伴う移譲先法人の社会福祉法人あいのかわ福祉会が浅香一丁目地内に本年四月一日からかねだ保育園の分園を開設する予定で準備を進めております。分園では、待機児童が発生しやすいゼロ歳児と一歳児を保育する予定であり、定員は十数名となる見込みです。

されておりますが、そこに足を運んでくださる方々が、そのイベントを楽しんだ後に周辺の施設や店舗等にも立ち寄ってくださることで、大田原の魅力の再発見につながると考えております。

今後は、単にイベントだけを楽しむのではなく、イベントも楽しみ、その他の大田原の魅力にも触れられるようにしていきます。また、イベント参加事業者、来場された方々にもよりメリットのあるイベントのあり方を検討していきたいと考えております。

さらに、現在のかねだ保育園は、老朽化していることから、社会福祉法人あいのかわ福祉会は、平成二十六年度の開所に向けて建てかえを検討しており、その際に定員を検討しており、その際に定員を現在の九十人から百五十人程度にする予定であります。これに合わせて、ゼロ歳、一歳の定員を保育需要に見合うように、より多くする予定であります。

また、現在くろばね保育園のゼロ、一歳児の保育室の改修を進めており、改修工事が三月中に完了見込みであります。この

改修工事によりまして、新たにゼロ歳、一歳児十人程度の受け入れが可能となります。

さらには、現在の各保育園を最大限活用して、園児の受け入れを図ってまいりますとともに、保育園から幼稚園の転園につきましても、保育園、保護者及び幼稚園の皆さんのご理解をいただきながら進めてまいります。

これらの施策を総合的に進めることによりまして、厚生労働省の基準に基づき本年四月一日における待機児童は、今後の入所申し込み状況にもよりませんが、ほぼ解消できる見込みであります。



大田原の魅力を知ってもらえるイベント開催